

立川競輪事業の将来像検討委員会

第3回議事録（要約）

○日 時：平成23年8月23日（火） 14：30～16：30

○場 所：立川競輪場 会議室

○出席者：岡部委員長、小町副委員長、白土委員、溝口委員、田中（準）委員、中野委員、
田中（良）委員、小林委員、山本委員

○議 題：今後の競輪場の運営について

○議事内容：

委員長 それでは皆様お揃いですので、第3回立川競輪事業の将来像検討委員会を開催いたします。配布資料の確認を事務局からお願いします。

事務局 （配布資料確認）

委員長 それでは、議題に入ります。

前回の委員会で出ました委員の方々からのご意見について、事務局から説明をお願いします。

事務局 （資料1～6の説明）。

委員長 ただ今事務局から説明がありましたが、資料5について補足説明はありますか。

委員A 特にはありませんが、従事員につきましては、包括委託から外している施行者もいます。包括委託の最大のメリットは委託費の中に従事員費を含むことができることですが、組合との関係もありますので、従事員は包括委託から除外し、その部分だけ直接雇用している施行者もいます。

委員B 資料6としましては平成19年度のものですが、おおむねの傾向は変わっていません。

委員長 それでは、資料に関してのご質問やご意見がある方はお願いします。

委員C 従事員についてですが、広島の記事がありませんが、包括委託ですか。

委員A 広島は包括委託ではないと思います。

委員C 広島が包括委託ではないとしても、他の競輪場を含めた従事員に関する数値が資料5に記載していますので、これで従事員雇用の問題が今後の課題となることが判ると思います。

委員長 従事員が400人を超える競輪場は立川、静岡、岐阜の3場です。立川における女性の従事員の平均年齢は58.5歳となっていますが、この資料は4年前の資料ですので、現時点では平均年齢は約60.0歳程度になっていると理解して宜しいでしょうか。

委員A はい。

委員長 資料 5 に記載しているその他はどういう方ですか。

事務局 立川競輪場の場合は警備の嘱託職員の方になります。

委員長 他に何かご意見はありますか。

委員 D 静岡の従事員は平均年齢は立川よりも若いですが、立川と同じような雇用をしているのですか。

委員 E 静岡は包括委託ですが、従事員は直接雇用になっています。

委員 F 従事員登録者の全てが稼動するのですか。

事務局 現状では 300 人の登録者がいます。雇用調整 1 日というものがありますが、本場開催の場合は全員採用となっています。場外開催の場合は必要な人数だけの採用となっています。窓口業務以外の従事員の方については別の業務を行ってもらっている状況です。

委員長 単純に考えても本場開催の場合は 300 人を雇用するので、1 日の本場開催で 300 万円の従事員費がかかっているということでもいいですか。

事務局 はい。

委員 E 窓口数は減少してきていますので、現状において本場開催時の 300 人の採用では余剰者が出る状況です。雇用調整というのは休みのことで、現在は平成 22 年度から平成 24 年度までは協定で雇用調整 1 日と決まっています。

事務局 現在の窓口数で適正な従事員数を算出した場合、雇用調整日数に換算すると 9 日程度となります。これに対して現状では協定により雇用調整 1 日となっています。

委員長 余剰者についてはどのように対処していますか。

事務局 立川競輪場は以前からゴミが多く汚かったので、余剰者の方には清掃を行ってもらっています。また、イベントやファンサービスにおいても新たに雇用するのではなく、従事員で対応するようにしています。

委員 G アンケート結果についてですが、拡張サンプルとはどういうものですか。

事務局 アンケート人数が少ないということで、一般往来者とは別に競輪場来場者に対して追加でアンケートを実施しています。追加の分を拡張サンプルと記載しています。

委員 F アンケート結果の問 9 にもありますが、一般往来者は競輪場に対して汚いというイメージを持っているようですが、来場者（拡張サンプル）はきれいという回答しています。この点からも競輪場に対してイメージ先行になっているように思います。

委員 H このアンケート結果を参考に、他の競輪場で具体化した例はありますか。

委員 A 現時点では、アンケート結果を参考にして実施したかどうかは別として、データベースのようなものを作ろうとしています。部分的な話は聞くのです

が、全体的な面では把握しきれていないのが現状です。

委員 H 各競輪場に対して、アンケート結果のフィードバックはしているのでしょうか。

委員 A 今まで良い具体例の情報を集めていませんでしたので、フィードバックもしていない状況です。

委員 H そうすると何の為のアンケートなのでしょう。

委員 B 少なくともマーケティングの判断材料になっていると思います。

委員長 アンケートにもあるとおり、競輪がどういうものであれば行くかという点に関しては、一般の方であれば家族やペアで安心して楽しめる競輪が一番多く、また競輪ファンに関して言えば、スター選手を求めているようです。今後、一般の方及び競輪ファンの増加を図るにはこの点を踏まえてイベントなどの開催を考えていく必要があると思います。

他に何かご意見はありますか。何かありましたら後ほどでも結構ですので、事務局の方にご連絡頂ければ対応致します。

それでは次の議題に入ります。若手職員作業部会の報告につきまして、まず事務局から報告致します。

事務局 （作業部会報告）

委員長 報告書の中でも 16 頁以降に売上向上策の記載がありますが、今後はその中に追加記載していきたいと思います。1 グループから 3 グループの中で、来年度にでも直に実施した方がよいのではないかと。又は、時間をかけてでも今後取り組んでいった方がよいのではないかとといった意見がありましたら挙げてください。

委員 A どのグループも提案しているのですが、社会貢献として地元の方達の理解を受けられる自治体の施設という話が出ます。何等かの形で市民の方が見られる機会を増やすという事は、理解を得ていく上ではすごく良い事だと思います。

また、第 2 グループの 10 頁目の所に、地域他団体とのコラボというのがあります。一体形の企画の延長線上にもなるのかと思いますが、昨今、ポイントカードのようなものが流行していますので、地域の飲食や商業とコラボし、競輪場に還元できるような仕組みも発想としては面白いのかなと思います。費用を掛けないで出来るものではないと思いますが、競輪場に来るお客様は、やはり競輪のファンの方が多いですし、そういう方々が地元周辺にお金を使うことで、全体的な地域の活性化の一翼を担って頂ければ、有効なアピールポイントになり、かつ地元の理解も得られるのではないかと思います。

ハード面では、やはり 2 グループの提案で、他の競技場の車券が購入でき

たり、パチンコ店を併設するというのがありますが、これ実は両刃の剣という側面もあるのですが、お客様が一所に集まることで、ここに行けばどのギャンブルでも出来るよというような感覚のものが作ればそれはそれで面白いと思います。

第2グループの所ばかりで恐縮なのですが、女性とか、ご家庭を持った方に足を運んでもらうためには明るく、綺麗で清潔な施設をイメージしているのだと思います。

これは以前にもお話ししたかもしれませんが、以前、中央競馬で競馬場を改修する前に古い常連のお客様の居場所になっていたエリアがあるらしいのですが、そこにファーストフード店などの若者向けの店舗を入れた時に、若い人達は集まるようになったのですが、逆に常連のお客様達が別の場所に移動してしまったというケースがあります。昔からの競輪ファンや、ギャンブル好きな方達を逆に排除するような事になると、それはそれで問題だと思います。

従って、お客様のニーズに合わせて滞留する場所、お客様が楽しめる場所を差別化し、各々の人達が居やすいエリアをある程度作ってあげるという事は今後必要になってくるのではないかと思います。

委員長

商店街とのコラボは第3グループの提案の中にもあります。

また、他の公営ギャンブルの券も購入できるという提案は第1グループでも案を出しています。

委員C

それぞれのグループに共通して言えるのは、イベントを実施する場所として活用できないかという事だと思います。立川の場合、発売していない日が他場と比べて比較的多くなっていますので、比較的競輪と関係のないイベントに使える機会があるのではないかと思います。

例えば第1グループですと、お笑い芸人やミュージシャンと書いていますし、第2グループですと地元とのコラボみたいな事が書かれています。また、漫画のイベントというような事も書かれていますけれど、中身はともあれ、そういう場所を提供して欲しいと思っている人も意外にいます。既に他の競輪場でも行われているイベントもあると思いますので、そういう点は取り組みを検討してはいかがかなと思います。

また、第3グループの提案とも絡みますけど、それに合わせた施設をどう位置付けていくかという事が次に検討することになると思います。アンケート結果からしても、一般の方はイメージ先行型が多いようですので、そのような人を対象に気楽に入れるような施設の呼び水として、イベントを開催していく事を計画の中に取り入れていくことが必要だと思います。

委員長 施設のエントランスが暗い、壁が刑務所みたい、エントランスが低くて威圧感がある、などが提案書の中に記載されています。この点についてはいかがでしょうか。

委員 C 近隣の小学校に壁に絵を描いてもらうといった提案もされています。取手競輪は競輪場に芸術性を取り入れているようです。

委員長 具体的にどのような取り組みをされているのですか。

委員 C 東京藝術大学美術学部の学生とサイクルアートと称して競輪場に芸術を取り入れることで、子供や女性に気軽に立ち寄ってもらえる、また、市民に開かれた街づくりの一環となるような競輪場を目指しています。施設、シャトルバス、バンクなどに、面白いアートがあります。

委員長 取手競輪場以外でもそういう取り組みはありますか。

委員 A 取手競輪のような芸術的なものではないのですが、近いものとしては、小倉競輪のドームが漫画家の松本零士さんにキャラクターをデザインしてもらっています。

お客様にはまず、競輪場に来てもらうことが重要だと思います。従って、競輪開催をしていない時に、朝市や物産展をやっている競輪場もあります。実際は、そのようなイベント開催の時はお客様に足を運んでもらえており、競輪場の今までのイメージを払拭するという事に貢献していると思うのですが、しかしながら、その次のステップとして、同じお客様に競輪開催日にも足を運んでもらって車券を買って頂けるというところまでには至らないのが現状です。その点が非常に難しいところです。

やはり、最初は競輪を開催していない時にイベントを行って、競輪場に入場するという点でのハードルを下げ、その次には競輪を開催している時にイベントを行うことで、配当が聞こえてきて、100 円で買った車券がこんなに増えるのかという実感を持ってもらうといったように徐々にハードルを上げていかない限りは、一般の方に車券を買ってもらうというステップまでは中々進んでいかないような気がします。

委員 B 作業部会の斬新なご提案に興味深く拝見しました。ありがとうございます。

まず、第 1 グループからですが、冠レースなどは直ぐにでも出来ると思います。これは他の競技場でも個人募集で『〇〇ちゃん大好きだよ』カップとか、結構面白いレースが成功していると聞いていますので、この辺は企画次第で実現可能かと思います。

資料の 1 枚目の下から 4 つ目に、自転車ツーリング基地として空き施設を活用すると記載しています。先程から出ている話と重複しますが、競輪は年

間 58 日しか競技しません。従って、残りの 300 数日はバンクが空いている状況です。そこで、自治体として施設を如何に有効活用していくかという事で、今度の多摩国体においても立川競輪場が自転車競技の会場に指定されていることから、自転車競技場として立川競輪場の存在価値があるというふうに思っています。

また、バンクを一般の方に利用してもらう場合、事故に対する管理体制において難しい面があります。従って、一般の方にバンクで乗ってもらうような機会は少なかったと思いますが、バンクはある意味、公道よりも安全ですので、子供から大人の方の体力づくりの一環として、バンクを利用して頂けるような環境を作って、提案にあるような自転車ツーリングの基地として場内に自転車ショップがあったり、クラブハウスがあったりと気軽に立ち寄れるような施設にすると、市民の方により馴染みを持って頂けるのではないかなと思います。そうなれば、開催中にも来ていただいた際に、生で競技を観戦することで、プロはすごいというような所からきっかけに競輪ファンになっていただくというのもアプローチとしてはあるのではないかなと思います。同じような提案を 2 グループ、3 グループの方にもしていただいております。

2 グループの提案では、第 4 スタンドフラット化に興味を持ちました。スタンドの下の所にテーブルを置いて、ガーデンにするというのはどうでしょうか。また、ドーム化などは是非やっていただきたいなと思いますが、少しハードルが高いという気はしています。

次に I C カードの提案についてですが、これもかなり実現性が近くなってきたと思います。

それから、2 グループの 8 頁、バンク中央にフットサル場・BMX・スケートボードパークを作るという提案についてですが、先ほどの提案と同じ部分もありますが、例えば、現状ではお客様が施設内に満員に入る事ありませんので、施設改修するのであれば、ある程度土地を整理して、BMX とかスケートボードパークを作るのも面白いと思います。具体的には、大阪の岸和田競輪場がバックスタンドの老朽化に際して完全に取り壊しをして、そこを BMX のコースにしています。レースの合間には、子供たちが BMX に乗って、その間に付き添いの親御さんがレースを見て車券を買うという相乗効果も出ています。このように、競輪というものと何かに組み合わせて計画、検討していくことも大切なことだと考えています。

3 グループは、やはり施設の直し方の部分ですね。サイクルパラダイスという事で、昭和記念公園から競輪場、多摩川、これを組み合わせた自転車文化全体の構造という所で面白いと思いました。

委員長 その他に何か、これは面白いというものがありますか。

委員G 立川にもフィルムコミッションで色んな聖地という事で来られている方が多いのですが、競輪場もフィルムコミッションと連携して、色んなドラマの舞台にしていいただければ、お客様が来てくれるのかなと思います。今までは競輪を知っている方が来れば良いという考えでしたが、競輪を知らない人にも足を運んでもらうためにはどうすればいいかということを考えていかなければならないのではないのでしょうか。そのためには、ドラマの撮影現場でよく使っているといった有名スポットとしての位置付けが必要だと思います。

また、お客様に来てもらうことは必要ですが、来てもらっても車券の買い方、レース展開仕組みが判らないと売上げの向上には繋がらないと思います。提案にもありましたが、その点についてはホームページを利用して、初心者の方に対してガイダンスみたいなものを開設していけば良いのかなと思います。

3 グループの提案にもあるサイクルパラダイスは大変興味深く拝見しました。立川市で言うと多摩川添いを自転車で走られる方が多いと思います。旧多摩川小学校は多摩川沿いにありますので、多摩川からすぐに入れると思いますが、立川競輪場は、多摩川から離れているということもあって、自転車で走り易い道路（ルート）がない状況です。サイクルパラダイスの計画では、自転車で走り易い道路（ルート）の検討が必要ではないのかなという気がしています。

委員長 現状で初心者ガイダンスは機能しているのですか。

委員E 現状ではあまり機能していないと思います。

委員D 競輪は買い方、レース展開の読み方が全然分からないと面白くないと思います。現在、テレビのコマーシャルで3人の芸能人の方が出ていますが、ああいう所で色んな勝ちパターンや読みパターン、場合によっては専門用語を説明し、そういう幾つかのパターンで競輪を紹介して買った100円の車券が当たって喜んでいる姿を見せるといったPRをしていくことが来場者の増員に繋がると思います。

委員長 1 グループからの提案にもありますが、初心者向けのホームページですとか、初心者競輪教室、初心者専門スペースを確保するですとか、出来る所から対応していきたいと考えています。

また、バンクにつきましては、非開催日には地元選手の練習にも使っています。

委員E バンクは地元競輪選手、地元の高校生や大学生の選手のホームバンクとして使っています。競輪選手は毎日練習している状況ですし、大学生は早朝に

練習をしています。現状では非開催日に一日空いているという日はない状況です。

委員 B 必ずしも選手や学生、一般の方を区別してバンクを利用しなければならないというわけではないと思います。プロ選手や学生の練習を見て、あの人位早く走れば競輪や国体に出られるという実体験が出来て面白いと思います。

委員 E そういう点で言えば、バンクを走ったことがない方が選手と一緒に走るとは難しいと思います。選手からすれば練習の妨げになりますし、事故なども起こりやすいと思います。バンクで一般の方と選手と一緒に走るという方向性は難しいと思います。

委員 F お客様に来て頂けないのは、立川競輪場の認知度が低いからだと思います。認知度を高めるには、戦略的に検討していく必要がありますが、やはり、デザインが重要だと思います。トータル的なデザインとして景観的な明るさをどのように取り入れていくかという事を検討していく必要があると思います。そして、それを身近なものにするには、先程から話題に出ているイベントをどのように実施していくかだと思います。以前にテレビで見たことがあるんですが、リンゴ娘のようなキャラクターを作るのも手段の一つだと思います。競輪場のキャラクターとしてアピールし、ファンと一緒にになってそのキャラクターが成長していければ、そこから親近感が生まれていくように思います。

立川にはIT企業が集積していて、色々な意味合いでビジネスチャンスがあるように思います。Facebookという提案がありましたが、立川にはそういうものを取り入れる環境が整っているのも、ゲームデザイナーのような人とコラボレーションすると幅広く改革が行えると思います。現在の若者は興味のあるものに対してはハードルがないように思いますので、競輪場に若者を引き込む手段になるのではないのでしょうか。

各グループの提案につきましては、現実的に出来るものから着手する事が重要だと思うのですが、予算も限られておりますので、バランス良く組み合わせて検討していく事が必要だと思います。

委員 A また、第2グループなのですが、12頁の中に、オタク市場への参入というのがあります。切り口的に常時お客様を呼ぶ手法として、どう効果があるのかは難しい所はあるのですが、オタクと言われている人達は、自分が欲しいもの、手に入れたいものにお金を惜しまないんです。オタクという人たちの中にはご存知のとおり、何万、何十万もするフィギュアを自分用とオークション用と言って何体も買うという、けっして安価ではないけれど、自分が手に入れたいものであれば、オークションなどで5万、10万払う人達があります。

競輪という商品をどう売るかという事を考える上で、競輪をやる事が、あ

る意味目的ではなくて手段でも良いのではないかと考えられます。例えば、オタクという人達にとってニーズのあるものを提供する、それを得るためには、競輪をすることにより、一定の条件をクリアする必要がある。それを得るための手段として競輪に賭けてもらう。そういう考え方もあって良いと思います。立川市はアニメ都市というような事も書いてありますので、もって行き方によっては、非常に購買額の高い人達を呼び込めるツールになるのではないかという気がします。

委員 E 立川競輪には硬派的な考えがあり、競輪というものを面白くして、それを売れば良いのだという事で、他場などと比べて、カワイイ系のキャラクターを作るというような検討はしてきませんでした。開設以来、一貫してそう考えてきたのですが、その辺の転換というのもある程度考えていいのかなと思います。

委員長 立川競輪場はバンクの愛称などありませんし、本当、殺風景で淡々とレースをするだけですね。小田原競輪や町田競輪はバンク内が綺麗に飾られています。

委員 E そうです。今はバンク内にキャラクターを描いたりしている競輪場が増えてきています。

委員長 バンクを改修する計画がありますので、その辺を併せて検討してみてもいいかがでしょうか。

委員 E 第2グループの提案書の11頁、ゆるキャラという言葉がありますが、そこまでいくかどうかは分かりませんが、転換の時期に来ているのかなという気はします。

また、今の若い人は集めるということが好きだと思います。一年間通して毎月何か貰える、競輪場に来ないと貰えないといった仕組みにして、連続して貰えるとコレクションしたくなるといった企画も面白いと思います。

委員長 野球やサッカーではカードを球団から貰って、それを持って練習場に行くと選手がサインしてくれる。そういうカードは限定品として何十万円もするそうです。カードは色んなスポーツで出していますし、マーケットも大きくなってきているように思います。

委員 E 今までは選手会との関係上なかなか実現できなかった面があるのですが、現在は選手会も大分変わってきてます。危機感も持っていますので今後はこういう展開もあり得ると思います。

委員長 競輪の場合、選手がカードにサインをしても、もらった人はあまり喜ばないかもしれませんが、集めるという点からすると今の若い人にはうけるかもしれません。

- 委員 A 昔、テレホンカードがあった時代に数万円で売買されているようなものもあると聞いたことがあります。確かに上手いやり方をすれば、コレクションの対象になると思います。
- また、カードを渡すタイミングとして、車券を買った時に渡すようにすれば売上げに繋がるのではないのでしょうか。
- 委員長 野球・サッカーなどは、それを目当てに入場してくる人がいると聞きます。競輪の場合は、入場ただけでカードを渡すということになるのでしょうか。
- 委員 F 例えば、車券 3 万円分と引き換えにカードを渡すことも考えられます。
- あと、フリーペーパーやアナログの紙媒体についてですが、競輪場でやっているのは抜本的なものです。情報誌的なもので、例えば今回の開催にはこういう選手がいますとか、この選手が強いでしょうといったものはあります。
- 事務局 （冊子の配布）
- 委員長 これは月間ですか。
- 委員 E はい。月間です。
- 委員 F これはかなり専門的な冊子ですね。
- 委員 E これはあくまでも競輪をやられる方向けの冊子になっています。
- 委員 H バンクを囲う周りのフェンスが透明の亚克力になっている所があるんですね。
- 委員 E あります。
- 委員長 近くでは西武園が亚克力を使っています。亚克力は雨が降ったら水滴がついて見にくいですし、古くなってくると曇ってくるという欠点があります。フェンスの種類については施行者が好き好きに採用しています。
- 委員 H フェンスについてですが、まず競輪場の外のフェンスについてはコンクリートのフェンスに絵を描いても良いんですが、刑務所もコンクリートのフェンスに絵を描いているので、コンクリートで囲うことはあまり良い印象は与えないと思います。また、バンクを囲うフェンスについては金網となっていますが、そこまで頑丈に囲わなくてはいけないのでしょうか。そういった印象の悪いフェンスをやめてしまって、他のフェンスにするという事は考えられないのでしょうか。
- 委員長 観客とバンクを隔てるフェンスというのは無いのが一番なのですが、選手の安全管理上、必要となります。
- 委員 A ご意見が出た通り、フェンスにつきましては無いのが一番ですが、フェンスを無くすというのは難しいと思います。一時、競輪場を囲うフェンスを全部無くしてしまうという話が出たのですが、都市部や繁華街ですと浮浪者が

競輪施設に無料で入れるようになってしまい、冷暖房がある空間に居座ってしまうのではないかという議論になりました。しかしながら、印象を良くするためにも開放的なスペースにする事は必要だと思います。

委員 H 建物の周りを緩衝帯みたいにして、ベンチなども置いてみたり、建物と道の間がもう少し色んな事に使えるような空間にすれば、多少、印象は良くなるのかなと思います。

委員 A 野球チームの楽天に以前話を伺った事があって、その時に出了た話として、場外で毎日のように賑やかしをすると、賑やかだけ何をやっているんだ、という事で球場の周りに人が集まってくるそうです。そうやって球場の周りを掻き立てる事によって、それがやがて入場者数の増加に繋がっていくと言っていました。ご意見が出たように、競輪場の周りにスペースを作って、そこを賑やかな空間として利用すれば、入場者の増加に効果的かもしれません。

委員 G 現在、食堂の店舗はどういう状況でしょうか。昔はたくさん応募があつて抽選で出店する状況だったのですが、いかがでしょうか。

委員 E 多いか少ないかと言うと、少ない方だと思います。昨年、売店の貸付の更新時に募集を行ったところ、2社の応募がありました。

委員 G ワーキンググループの提案にもあったのですが、食べ物を充実させて、例えばB-1 グランプリで出ている料理が食べられる店を出すというのはどうでしょうか。

委員 E 現在、この場所に来ればこういうものが食べられるという売りになっているような店舗はありません。店舗の中にマグロ系の食事ができる店がありまして、その店舗は独自でチラシを作って自己PRをしています。その程度です。

委員 G 食というのも楽しみの一つだと思います。競輪場で一日過ごす場合、昼まで競輪をやって、昼食を取って帰ることもあると思います。

委員 A 立川市さんは飲食店組合とかがあって、新しい店舗を入れようとする、反対を受けるようなことがあるのですか。

委員 E 募集をして選考しているのでそのようなことはありません。

食堂につきましては、競輪本体の経営と同じで、経営がかなり厳しい状況になってきています。立川競輪場において入場者数と1人当りの購買単価がこれだけ下がっている中で、一食に2000円程度を費やすというのは厳しい状況だと思います。

委員 A 新しい店舗を出店する場合、立川市の場合は問題無いようですが、先程言ったように飲食店組合などがあると、新規の参入を拒むようなケースがあります。また、出店する側から言えば、営業日数が問題になると思います。1

年 365 日の内の場外を含めて開催が多い競輪場であれば 300 日程度店を開ける所もありますが、少ない開催日数では経営的には少し厳しいような気がします。

委員長 立川競輪場だと 150 日程度の営業日数になります。

委員 A そうであれば、駅前に店舗を構えていて、アルバイトのような形で 1 年の内の何日かを営業するといった発想ができる店舗でないと難しいと思います。

委員 D 提案されている B-1 グランプリの開催については開催可能でしょうか。

委員 E 単独のイベントとして成り立つのかどうかは別ですが、競輪が非開催日であれば可能です。仮に開催日にそういう飲食イベントを行うとしても、調整は必要となってきます。

委員 D 提案されている B-1 グランプリの実施は競輪開催日ではないということですね。

委員 E はい。そうです。

委員長 平塚で B-1 グランプリを実施した場所は平塚競輪場ではないのですか。

委員 D あれは厚木です。

委員 F 新しい事をやろうとすると調整が必要だという話になってきますが、変えていくのであれば、調整し、確認をしていくということを積み重ねていかないと、変わらないような気がします。その都度修正していけば良いのですから。世の中はもっと速いスピードで変化していくので、時代に乗り遅れてしまいます。その時の流行は取り入れるべきなので、そういうイベントを実施することで集客が見込めるのであれば、試行的にやってみる価値はあると思います。

委員 A 先ほどお客様を差別化する話をしましたが、その時に初めて来場したお客様や、若い人にとって食というのは必須だと思います。それなりのオシャレな空間で今流行りのスイーツなどを提供し、そのエリアの中でその人達が車券も買えて、快適な空間の中で過ごせるという事の中に間違いなく食は必要だと思います。

委員長 それは主にファーストフード店になるのでしょうか。

委員 A その辺はなんとも言えませんが、場合によっては、じっくり腰を据えて食べられるものというコンセプトの方が良いのかもしれない。

委員 F 立川市ではチャレンジショップというものを実施していました。それは 1 年で店舗を卒業してもらって、その後本格出店するには、自分のマーケティングが足りないの、技術等を含め、営業しながら勉強し、その間に商工会議所が診断士を入れて店舗を探したり、経営指導を行ったりしていくといったものです。そういうチャレンジショップを 10 年くらい続けてきたのですが、

卒業生の半分位は商店街の中の店舗に店を構えています。自分のスキルや技術、味覚だとか、そういうものを形にしたいという若い人が多いのです。そういうものを店舗として導入してみても、話題作りになると思います。

委員 B 話が変わるのですが、立川市さんの場合、外国人はどの位おられるのですか。

委員 F 毎年 100 人程度増えており、現在で約 3000 人です。

委員 B 国別ではどこが中心になりますか。

委員 F 主に中国、韓国ですね。立川の場合はどちらかというところ、水商売だけではなくて事業をやりに来ている方が多いです。国の数でいうと約 60 カ国になります。

委員 B 聞いた話によると、桐生・浜松、あと太田市とか工場のある街ですと、非常に射幸心が高い外国人の方が多いと聞いています。

委員 A 韓国は唯一競輪をやっている国です。

委員 B J K A で外国人向けに車券の買い方の案内を作成しましたので、そういった外国人の方にお配りしていただければ売上げ貢献できるかもしれません。

委員 D 韓国の競輪は日本と同じやり方をしているのですか。

委員 A 基本一緒ですが、ラインというものはありません。

委員 D 韓国の選手が日本に来て走るという事はないのですか。

委員 A 韓国の選手が日本で競技することを企画して 2 年経つのですが、1 年目は韓国側のストライキで来られなくなり、今年の 3 月は震災で来られなくなりました。今年度についても実施する予定でいます。

委員長 提案にもありましたが、外国人選手を招待してレースを行うということについてはいかがですか。

委員 B 短期登録制度という制度があります。外国人が日本に来て、例えばオリンピックのメダリストというような有力な選手は 3 ヶ月間から 4 ヶ月間、大体、春先から、4・5・6・7 月、と日本で競技します。今年は震災の影響でキャンセルになりましたが、来年のオリンピックが終わって、また復活という事になります。昔は来日した外国人選手が全員同じ競輪場に出場していましたが、現在は短期登録制度になって、二人とか三人ずつ位が各競輪場を転戦している仕組みはあります。

委員長 オリンピックの競輪競技ではないのですか。

委員 B はい。オリンピック競技としてではなくて、日本の競輪をやります。

委員長 普段競輪を見ている人からみると、外国人選手は新鮮ですね。

委員 A そうですね。外人選手の中には安定していて非常に強い選手もいるので、車券推理の上で、非常に信頼できるということもあります。

- 委員 F 地元の話になりますが、昭和第一学園高校が国体で優勝していますね。あと、女性の競輪選手についてですが、その方は地元の選手ですか。
- 委員 B そうです。二人います。今、夏休みで帰省中です。
- 委員 F そういった、きっかけや話題についてはいくつかありますね。
- 委員 E 今の二つについては既に記者クラブに投げ込みをして、いくつか取材が入っているようです。
- 委員 A 今、女子選手は話題性が高いですから。
- 委員 H 女子レースを開催する場合は、一つのレースが終わると、同じ選手が次のレースに移りながら競技をしていくことになるのですか。
- 委員 B 今回、一期生として 35 人の女子選手がいます。従って、一年間は 35 人で競技をすることになるのですが、その 35 人の中から 14 人なのか 21 人なのか、2 レースなのか 3 レースなのか、メンバーを変えながら転戦していく事になると思います。
- 委員 H 順番に各競輪場を回っていくことになるのですか。
- 委員 B 全国競輪施行者協議会の方で実施場を公募しますので、その公募次第です。
- 委員 A 全場回せるかと言えば、それは中々難しいと思います。
- 委員 E 立川競輪場は、来年度にバンク改修をしますので、女子競輪開催については時期が合わないと思います。
- 委員 B 開催が難しいようでしたら、女子の選手をイベントで使ってもらってもかまいません。
- 委員 H 非開催日でもバンクが空いている時に来て、練習公開するというイベントも考えられるのではないのでしょうか。
- 委員 E 女子選手の開催をお受けして実際に走るようになれば、そういったイベントも有効だと思います。
- 委員長 色々な意見が出ましたが、選手のヘルメットにカメラをつけるというのはいかがですか。
- 委員 B その案につきましては以前にも考えた事があります。F1などでオンボードカメラを付けますので面白いなと思うのですが、技術的な面としてカメラは小さくできるのですが、映像を発信するための装置が大きいので、どうしても自転車に付けざるを得なくなってしまう。選手の自転車には色々な規制がありますので、自転車に装置を取り付けるというのはできませんので、現実的に難しいと思います。先頭誘導選手であればカメラを取り付けることは可能だと思います。
- 委員 A その場合、一番盛り上がるころの映像は映せないということになります。
- 委員長 やはりファンは迫力のある映像を見たいと思います。

- 委員 A バンクの内側を選手に合わせてカメラを走らせるという競輪場があったのですが、カメラ自体も走っているので、映像がぶれてしまい、あまり綺麗な映像にならないようです。競輪ファンには評判が良くないようです。
- 委員 B コアなお客様の為の映像と初心者の方の映像を分ける事も提案書の中にはありました。
- 委員 H 選手の着用するヘルメットですが、大きく、見てくれも良くないと思うのですが、もう少しデザイン性を考慮したものに出るのでしょうか。
- 委員 B バンクがコンクリートということもあり、細い形のスマートなものにすると、側面の安全性が確保できない事があります。
- 委員 A 女子競輪の場合、ファッション性の点については現在検討中です。
- 委員長 本日のご意見及びグループからの提案は、報告書に記載し、今後の参考にしたいと思います。それでは時間も残り少なくなって参りましたので議題 3 に入りたいと思います。
- 委員 C 16 頁の (4) その他、についてですが、サテライト 5 場からの収益拡大において検討するとの事ですが、サテライトからの売り上げ状況について報告書に記載されているのでしょうか。
- 委員 E 報告書には記載していません。
- 委員長 決算書には記載があるのでしょうか。
- 委員 E 報告書には記載されておりましたが、22 年度の決算では 5 場で約 1 億円の収入があります。本場開催の売り上げと同様にサテライトの売り上げも下がりがつづけています。サテライトからの収益も全体として増にはならない結果となっております。
- 委員長 他に何かご意見はありますか。
- 委員 E 19 頁の (3) の所の開催日数、選手数の削減について、全国競輪施行者協議会のお考えを聞かせてください。
- 委員 A まずは、開催日数を減らすことよりも、レース数を減らすことを基本として考えております。開催日数が減ると年間の固定経費に対する一つの開催の比重が重くなります。普通開催 (F-1、F-2) で、500 万円程度の赤字であれば、レースの削減の方が間違いなく効果的です。また、日程調整や記念との併売がやり易くなる等、運営面のメリットもあります。
- もちろん、開催で数千万円の赤字が出るような場合は、節数削減の方が効果的であることも認識していますので、次のステップの対応としては必要であると考えています。しかし、経費削減ができて売り上げが下がり続ければまた同じ状況になってしまいます。今後、売上浮揚策の検討が競輪事業を維持する上で重要な課題であると考えています。

委員長 現実問題として選手の削減にどう取り組むのか明確にはなっていないと思います、例えば機械的に下位から 1,000 人削減とかにはならないでしょうし、場合によってはレースが成立しなくなる事もあり得るのではないのでしょうか。

委員 A 現行体系を基本に、組み立てを考え、見直して行きたいと考えております。

委員長 その他お気づきの点がありましたらお願いします。

 それでは続きまして議題 4 報告書 24 頁の中に○印で空欄記載されている所がありますが、資料 7 に基づき事務局よりご説明願います。

事務局 (資料 7 について説明)

委員長 一般会計への繰り出し分については、財務部との調整により決まってくるそうです。また立川競輪場の施設改修については、施設改修基本計画策定委員会が 11 月に終了するので○印の所も当委員会に報告することができます。次回 11 月の委員会でご確認をお願いいたします。

 それでは今日のご意見は事務局で取りまとめて次回の委員会で事務局よりご報告致します。後程お気づきの点等御座いましたら、事務局までお願い致します。

 本日は長時間のご議論ありがとうございました。

以 上